



子ども達の見守る中で火がつけられた「どんど焼き」の様子(1月17日 鑄物師の神社境内にて)

Contents

- ② 年頭のご挨拶
- ③-④ 12月定例会報告
常任委員会報告・特別委員会報告
- ⑤-⑨ 一般質問
- ⑩ 臨時会報告
主な議会活動報告
- ⑪ 歴代議長に聞く(梅木隆治氏)
- ⑫ あなたの番です・編集後記



燃やされた「正月飾り」など

年頭のご挨拶



南越前町議会議長

秋田重敏

新年あけましておめでとうございます。
います。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町議会活動に温かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議会といたしましては、本年も町民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくり政策に対し、全力で支援してまいりる所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、昨年は新型コロナウイルスによる感染が世界的に拡大し、国内においての感染者数も20万人以上となり、また、多くの尊い命が奪われました。福井県内においても500人以上の方が感染され、20人の方が亡くなら

れております。

罹患された皆様の一日も早いご回復を心からお祈り申し上げますとともに、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表します。

感染の拡大に伴う影響として、休校措置、外出の自粛、飲食店などに對する休業要請、各種イベントの中止・縮小など、住民生活や経済活動が制限され、さらに医療現場においては、看護師不足による長時間勤務、重症者の病床確保など、医療従事者に対し多大な負担を強いる状況が現在も続いています。

感染症防止に尽力されている医療従事者、関係者の方々に感謝するとともに敬意を表したいと存じます。

また、昨年行われる予定であつ

た東京オリンピック、パラリンピックが新型コロナウイルス感染症の影響により開催が一年延期となるなど、今までに経験したことのないような一年でありました。

一方、昨年は、台風の上陸が一回もないという大変珍しい年でもありました。

しかしながら、7月には豪雨災害により西日本をはじめとして日本各地において河川の氾濫、土砂災害が発生し多くの方が被災されました。災害で被災されました皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。

次に、政府においては、長期政権であった安倍総理が退陣し、菅総理の誕生により新内閣が組閣されました。菅新内閣ではデジタル庁が新設されており、デジタル化が促進され、テレワークなどによる新たな勤務体制が推進されているものと思えます。

さて、本町におきましては、少子高齢化と人口減少が喫緊の重要課題であり、対策として若い世代の定住促進に資するよう、宅地分譲などの住宅政策を積極的に行うとともに、南条サービスエリア上

り線に隣接した「道の駅 南えちぜん山海里」の整備が進められております。さらに防災対策、学校教育デジタル化など、町民の多様なニーズに対応した町政の推進を期待しております。

また、昨年は、クマの出没が多く、町内においてクマに襲われ、けがをする事案も発生しました。

自然との共生を図りつつ、鳥獣害被害に対する有効な対策を講じていただくことをお願いいたします。

明るい出来事としましては、昨年6月に、本町をはじめとし、敦賀市、長浜市に点在する鉄道遺産が文化庁より本町2つ目の日本遺産に認定されました。

このことは、コロナ禍の中、鉄道遺産を大切に守ってきた地域の方にとっても、町にとっても大変喜ばしいことと存じます。

結びに、本年は新型コロナウイルス感染症が終息し、今までのような平穏な生活が取り戻せますことと、町民の皆様にとって、希望あふれる実り多き年になりますことを心より念願いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

12月定例会

12月定例会は、12月11日から18日までの8日間の日程で開催されました。

本会議の開催

12月11日午前10時に開会し、一般会計補正予算（第7号）をはじめ、各特別会計補正予算、職員の方限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正など13議案を上程しました。

上程された13議案は、各常任委員会に審査を付託することになりました。

一般質問の実施

12月14日、一般質問が行われ、9名が町政全般について、町長の考えを質しました。

町内視察の実施

12月15日、議員全員で町内視察を行いました。午前中は、12月8日に火入式が終わったばかりの新しいごみ処理施設（愛称「エコクリーセンター南越」と今年秋に開業する南条SA地域振興施設の工事現場、午後からは国の補助を受けて整備する杣山城跡整備現場、また昨年秋季に稼働した宇津尾谷川水

力発電所を視察し、町の担当者及び事業者から説明を受けました。

各常任委員会開催

12月16日、総務文教常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

17日、産建厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

新幹線・在来線対策特別委員会開催

12月18日午後1時から新幹線・在来線対策特別委員会を開催し、北陸新幹線の開業延期に伴う町への影響について担当課長より説明を受けました。

本会議の開催

12月18日は、審議を行い、上程された13議案を原案のとおり可決しました。また、継続審議となっていた令和元年度各会計決算を認定したほか、南越前町教育委員に山本祥司氏、榎村沙奈絵氏を任命することに同意しました。

選挙管理委員の選挙では、山口仁美氏、中川洋美氏、河畑国太郎氏、宮下壽貴氏が選出されました。また、選挙管理員補充員として4名を選出しました。

また、北陸新幹線敦賀開業の遅

れに伴い並行在来線の開業が遅れることで、追加経費等の財政負担が多大なものになることが予想されるため、議員発議により「北陸新幹線敦賀開業の遅れに伴う福井県並行在来線準備会社に対する財政支援を求める意見書」を国に提出することを決定しました。

常任委員会報告

▼総務文教常任委員会

(12月16日 開催)

今期定例会において、総務文教常任委員会に付託されました案件審査のため、12月16日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第98号「令和2年度 南越前町一般会計補正予算」の内、本委員会に関わる事項及び、議案第106号「南越前町職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正について」から議案第100号「南越前町立小中学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について」までの4議案につきまして、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

▼産建厚生常任委員会

(12月17日 開催)

今期定例会において、産建厚生常任委員会に付託されました案件審査のため、12月17日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第98号「令和2年度 南越前町一般会計補正予算」の内、本委員会に関わる事項から、議案第105号「令和2年度南越前町水道事業会計補正予算」までの補正予算関係8議案及び、議案第107号「南越前町の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正について」から議案第109号「南越前町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について」までの3議案につきまして、関係理事者の出席を求めて、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

審査の過程で、特に議論した事項は次のとおりです。

1. 今後の新型コロナウイルス対策における経済支援について

「今回の補正において、電子決済サービスの追加補正をされました。今後、町における追加経済支援を行う場合には、町内住民に限定した支援を図っていただきます」との指摘に対し「新型コロナウイルスが再び感染により影響を受けた町内事業者の経営持続化と65歳以上の町民の経済的な生活支援のために商工会など関係機関と協議し、南越前町独自のプレミアム商品券の発行に取り組みます。」との回答でありました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定いたしました。

特別委員会報告

▼決算特別委員会報告

9月定例会で付託を受けた令和元年度一般会計決算及び各特別会計及び水道事業会計決算認定に係る審査のため、10月12日から11月27日の期間中の5日間、所管ごとに説明者の出席を求めて慎重に審査し、原案のとおり承認することに

決定しました。また、審査の過程で特に指摘した事項を報告します。

指摘 無雪化計画が平成23年度に策定され、平成30年3月には一部見直しを行ったとのことですが、道路整備状況や中学校の統合計画など社会環境が年々大きく変動してきていることを踏まえ、変動に合わせて適正な無雪化計画の見直しを行うと共に、住宅団地等整備を行う際には、消雪の整備なども併せて実施するよう検討されたい。

回答 本町では、町道の消雪路線を計画的に進めていくため、南越前町無雪化計画を策定しました。この計画は、町道の等級、交通量、人家密集率、水源の有無などから路線の評価を行ったもので、これを基に町道の消雪化事業を推進しているところです。

今後は、社会環境の変動に併せて適正な時期に計画の見直しをすると共に、冬期間の安全確保のため道路消雪化事業を着実に取り組めます。

指摘 現在、水道事業など配管等の図面のデータ化を促進しているが、それらの図面を活用し、職員が迅速かつ適正に漏水等に対応できる体制づくりと専門技術者の育

成を図り、安定した会計運営並びに有収率向上に努められたい。

回答 令和元年に水道法が改正され、管路の詳細な情報や水道施設の設置場所などを示した水道台帳の作成が義務付けられたため、本町では、令和4年度の整備に向けて作成中であり、一元化された台帳を活用することにより迅速かつ適正な漏水対応が可能となります。

また、今後、事務分野から技術分野まで様々な研修会に積極的に参加すると共に技能向上のための環境を整えることで、水道業務に携わる事務・技術担当者の育成と質的向上を図り、安全で安定した水道事業の運営と有収率向上に努めます。

▼新幹線・在来線対策 特別委員会報告

11月27日並びに12月18日に委員会を開催し、北陸新幹線金沢〜敦賀間開業について、並行在来線の運行予定、12月になってから公表された工期の延長、事業費の増加やそれに伴う並行在来線の開業延期に伴う費用など、担当課から説明を受けました。

議員からは特急の取り扱い、普

通列車の運行本数、現在ある駅の取り扱い、在来線新会社の準備状況、開業延期に伴う費用の増加、沿線市町の状況などについて質疑が行われました。

当委員会は、開業延期は在来線新会社への移行も延期され、多額の運行赤字が予想される新会社に対する町の出資が増加し、本町にとって負担が大きいため、国に対して新幹線工期短縮の徹底や、開業延期に伴う追加経費の全額国庫負担などの支援を強く求める意見書を議長名で国に対し提出することを採択しました。

【意見書】

1 北陸新幹線金沢〜敦賀間について工期短縮を徹底する等、あらゆる手段を講じ開業時期が可能な限り遅延しないよう対策を講じること。

2 新幹線開業が延期される場合は、遅延によって在来線新会社に生じる開業準備追加経費を国の責任において全額国費で措置すること。

3 並行在来線は開業後も非常に厳しい経営環境が続くため、町民の日常生活に欠かせない地域鉄道という観点から、開業後の経営に對しても人口規模、財政規模を考慮した支援を講じること。

一般質問



喜村喜代治

一、有害鳥獣対策について

問 猿による被害が集落内においても増えている。捕獲用檻の増設を願いたい。また、今後の対策は。

答 町長 捕獲については、野生動物保護管理事務所に捕獲業務を委託するとともに遠隔監視・操作システムを用い大型檻を設置し捕獲に努めている。また、捕獲檻の増設に向けて関係機関と協議を進める。

問 猪・鹿対策として2mの恒久柵が補助対象となり、その効果は十分にあると聞いているが、今年支給された柵の素材が細すぎて柵を破られた集落もある。今後は材料の検討が必要ではないか。また、集落の全農地を生産組織や担い手等に委託している場合、恒久柵の設置について前向き話が進まないと聞いている。集落間で未設置個所が発生すると効果が半減するが、町としての指導・対応は。

答 農林水産課長 令和3年度は、町内12集落から要望がある。今年度柵が破られた教訓を踏まえ、来年度の部材等の仕様については見直しを図る。また、全ての農地を委託している集落においては、隣接する集落間の恒久柵を連結することにより最大の効果が見込める箇所については、設置の働きかけを強く行うこととする。

二、山海里支援事業について

問 この事業は、比較的小規模ではあるが、集落にとっては貴重なものである。しかし、以前8割助成で対応していたと思われるが、現在は7割で、山間地の小さな集落は負担金の捻出に苦慮しているのが現状であり、補助金の拡大を検討できないか。また、併せて全体事業費の枠の拡大も検討されたい。

答 町長 財政改革による補助金の見直しにより、町補助金整理合理化検討委員会での議論を踏まえ、平成28年度より7割補助に変更した。他の補助事業との兼ね合いもあるが、高齢化の進んでいる集落や戸数の少ない集落については特に考慮し、事業費の限度額とあわせて、庁内での議論する。



山本徹郎

一、脱・炭素社会の時代に向けて

問 ①本町では、「低公害車の導入」を町民や事業者に求めている。公用車の入替を検討しているのか、また低公害車の導入促進のために購入補助や助成を行う考えがあるか伺う。また、電気自動車を有効に活用すべく、災害連携協定を結び、町内に配備するのは如何か。

答 町長 公用車の入替時には、電気自動車などの低公害車の購入を検討しております。また、国の補助金を活用し、購入補助を行います。電気自動車の活用を含めたバックアップ電源の整備については、北陸電力(株)との包括的地域連携協定の中で、協議しながら進めて参ります。

問 ②多様なモビリティについて 高齢者の移動手段の確保として、「シニアカー」等のモビリティの購入補助が出来ないか伺う。

答 町長 高齢者や免許返納者向けに、意向調査等を実施し、慎重に検討して参ります。



シニアカー

二、宅地造成や情報公開に向けて

問 町民のニーズに合った土地計画や宅地造成が出来るのか、また町HPやケーブルテレビを活用した宅地造成の情報発信に関する考えも伺う。

答 町長 宅地造成は、町民のニーズに応じて計画的に整備しており、近年造成した分譲地はほぼ完売しております。今までは、土地の造成が完成してから公開してきましたが、今後は造成工事を発注した時期にもHPや広報紙などで公表・周知していきます。

答 建設整備課長 町のHPにおける閲覧の一括化については、2年前から特設サイト「南えちぜん暮らし」を開設し、町のHPとリンクさせております。また、福井ケーブルテレビの情報発信については、具体的な手法を今後検討していきます。



山本 優

南条SA周辺施設整備について

問 高速で南へ向かう人にとって、一時の休息とおみやげの購入、地域の観光案内などを担う道の駅「南えちぜん山海里」について聞く。地元にとって、食事、買い物などで利用する事と農林漁業の生産品を出荷する場の二面の役割が求められる、それぞれ町民に歓迎される施設となることを期待しているが、まずフードコートへの出店の応募状況とその運営管理は。



道の駅「南えちぜん山海里」イメージパース

答 町長 令和3年秋の開業を目指して建設中であり地元の農林水産物をはじめ特産品の販売やこ

の地域ならではの食を提供する施設であります。食の「フードホール」出店者については、指定管理予定の三谷商事(株)が春から出店説明会を開き県内外20社が参加、7業態が決定。内容は、南条SAとの差別化を図り専門性の高い店舗を目指します。地域の魅力を発信でき、多くの皆さんに楽しんでもらえる事業者に応募いただけただけではないかと思えます。詳細は担当課長が説明します。

答 建設整備課長 出店予定の店は、洋食、そば、お酒、スイーツ、カフェ、ステーキ、和食を予定。その店は、「山海里運営協議会」が運営し、他は、三谷商事(株)が運営を行う。また、各店舗テイクアウトもできる営業方式を計画している。

問 主に地元の農林水産業者が参加する農産物、加工品などを販売する「スーベリア・ゾーン」の応募の状況は。

答 農林水産課長 出品者は山海里運営協議会が町の広報紙などを活用し広く募集しており、現在の申込は74件で、農林水産物が38件で残りは加工食品等が36件であります。



大浦和博

一、津波の対応について

問 ①津波ハザードマップの見直しは行うのか。②海拔の基準は何処で、海面高と異なるのか。③津波が川を遡上して河川が氾濫するのではないのか。④河野天文学習館を壊さずに避難所として存続できないか。⑤大谷地区の避難路の整備ができないか。⑥河野地区下水処理場は大丈夫か。⑦南越消防河野分署の救急車等の待機場所は。

答 町長 ①全体的な傾向として最大津波高の平均は0.5m低下しました。糠・甲楽城で1.9m、河野2.7m、大谷2.0m。到達時間は、糠45分、甲楽城18分、河野20分、大谷30分となっております。今後町で、地域防災計画や津波ハザードマップの見直しを行います。

答 総務課長 ②海拔の基準は、東京湾における平均的な海面の高さを基準としています。③県の検証において、河川における影響は

ないとのことであり。④仮に取り壊しても、跡地の広場が避難場所として活用できます。⑤避難路整備地区として対象外となっております。⑦移動場所は決まっています。

答 建設整備課長 ⑥自家発電機を常備しています。また、移動用の発電機も準備して対応します。



河野天文学習館

一、水仙畑の保全について

問 越前海岸の水仙畑が国の重要な文化的景観に選定予定の糠地区は、獣害被害で水仙畑が壊滅状態である。恒久柵を設置できないか。

答 教育長 糠地区の文化的景観は、水仙畑を特徴としつつも、集落内に残る社寺や杜氏の功績碑など人々の暮らしと歴史も評価を受けたものであります。防獣柵の設置は、既存の鳥獣害対策支援制度より進めるため、地元集落や水仙農家等及び関連部局と協議し、前向きな取り組みができるよう努めます。



加藤伊平

一、新型コロナウイルス対策自動
体温測定器導入について

問 町内小中学校保育所、児童館では、体温チェックを非接触型測定器で行っている。先生、保育士さんの負担軽減のため「自動測定カメラ」を設置してはどうか。

答 町長 役場庁舎、各学校、保育所、児童館等に44台体温感知カメラを導入いたします。集落にも手持ち用非接触型を配布予定で12月補正予算に計上しています。



AI 体温検知カメラ

二、新型コロナウイルス対策追加
経済支援について

問 町内事業者の経営持続化のため「PAYPAY」を利用したポイント20%還元事業を9月から2ヶ月行ったが、スマホを利用できない町民、経済の萎縮で困っている町民もおられるので町内外を問わない利用者へのポイント付与はどうかと思う。福井市、鯖江市、越前市、永平寺町の様にプレミアム商品券を発行できないか。

答 町長 感染拡大で影響を受けている地域経済や住民生活支援のための各種施策を年度当初から展開してきましたが、経営の持続化とキャッシュレス化を推進するため「消費生活活性化ポイント付与事業」を2ヶ月間行いました。さらに追加支援として第2弾を12月補正予算案で提案しています。町独自のプレミアム商品券発行に向け商工会や関係機関と協議し、住民生活と地域経済を支援していきます。
答 観光町づくり課長 第2弾では期間を1月から2月として決済額の30%をポイントとして付与し、1回あたりの付与上限は5千円で1ヶ月の上限は1万円とします。



高橋宏介

3 中学校の部活動指導員の
現状について

問 部活動指導員は学校長の監督下で顧問の代わりに単独で指導・引率ができる外部人材である。3 中学校の現在の部活動指導員の採用数を伺う。

答 教育長 南越前町の3つの中学校には14の部活動がある。そこに5名の部活動指導員を採用している。内訳は、南条中学校が男子バレーボール部に2名、今庄中学校が剣道部、女子バレーボール部、吹奏楽部にそれぞれ1名、河野中学校にはいない状況である。

問 教員が競技経験のない部活動の顧問を任されることは、心理的負担になる。また、生徒に対しては、適切な指導が行われるのかと不安がある。部活動顧問の教員の競技経験について伺う。

答 教育長 今年度の正顧問で競技経験のない者は、3 中学校全体で約43%であり、その内訳は南

条中学校で8名中5名、今庄中学校で4名中1名、河野中学校で2名中0名である。

問 部活動指導員の募集の取り扱い先が、教育委員会なのか、学校なのか分りにくいとの声を聴く、どのような方法をとっているのか、また、採用基準はどのような設定がされているのか伺う。

答 教育長 募集に関しては、町のホームページを通じて行ったが、「なり手」がないことから、学校側にも募集の協力を得ながら採用を行ってきた。採用基準に関しては、競技の指導経験の有無や、生徒への指導方法を理解していただけるかどうかなどで、校長と相談のうえ教育委員会が採用を行った。今後は各中学校の校長と部活動顧問の代表、教育委員会事務局員で構成する「南越前町部活動の在り方に関する検討委員会」などで募集方法や採用基準、効率的な運用方法を検討して参りたいと考えている。なお、募集等の担当窓口は教育委員会事務局で行い、学校独自で判断することがないよう、教育委員会事務局と学校が連携して採用の可否を決定していきたいと考えている。



平谷弘子

新ごみ処理施設について

問 来年1月4日からは新しい施設でのゴミの焼却が始まり、分別方法が変わることで困惑することも想定されるが、町民の皆さまへの周知方法は？

答 **町長** 新しい施設は最新技術を導入し、24時間連続で焼却を行うことでダイオキシン類などの排出を抑制します。また、ごみを焼却した時に発生する熱エネルギーを回収し発電することにより、施設の運転に必要な電気を賄い、循環型社会の形成に貢献します。分別方法が変わることについては、チラシや広報、分別周知ビデオ、ホームページ、ポスターなど、あらゆる媒体を活用して、実施中及び実施予定であります。

問 施設が本格的に稼働した後、排ガスに環境汚染物質が含まれていないか、周辺の土壌についても稼働前と稼働後の比較が出来ないか。

答 **町長** 南越清掃組合新ごみ処理施設運営業務実施計画書において、施設周辺土壌ダイオキシン類の測定を毎年1回実施することが定められており、先日、関係区長、役員立ち合いのもと、生活環境影響調査の結果を受けて、牧谷総合運動公園において、稼働前の土壌中ダイオキシン調査を実施いたしました。測定結果については、ホームページで常時公開するとともに、新ごみ処理施設内や役場1階にモニターを設置し公開していきます。

問 坂口にある埋め立て施設が閉鎖された場合、南越前町に移転されることはあるのか。また1日約30台のパッカー車が通行することになるが、暗くなっても見えやすくなるよう反射シールを貼ることはできないか。

答 **建設整備課長** 第2清掃センターの管理型埋め立て処分場は、今後20年以上は受入れが可能であり、新たな施設を建設する予定はありません。また、パッカー車の反射シールについては、法律により義務付けられており、すべての車両で対応済みとなっております。



城野庄一

一、情報の受発信について

問 イベント及び観光地における情報発信や学校におけるタブレットの導入が進捗中である現況において、今年度はコロナ感染症対策の三密を回避するための防災対策や、過疎地域における高齢者や独居者の安否確認、健康確認にも十分効果が確認できる情報機器の整備が整ってきている。今までの各課個別の対応では住民が求める対応策との間に乖離が発生するのでチーム南越前としての取組が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答 **町長** 世界的な情報通信技術の進歩により経済活動、災害、医療、福祉、教育さらには、人物・文化など多様な交流を生み出し、私たちの日常生活に必要不可欠なツールとして根付いています。改めて情報通信技術のありがたさを感じているところですが、利便性の裏に潜む危険性も十分に理解をした上で活用をする必要が有ると考えます。

答 **総務課長** 町内97%の世帯に設置済みの音声告知機でのエリア指定の情報発信や防災行政無線等により屋内屋外にいても情報が確認できる体制が整っていますが、災害時のインターネットへの通信環境を向上させるため、防災、教育、観光など横断的に対応できるように情報主管課として総務課が調整役となるよう取組んで参ります。

二、令和三年度のイベントについて

問 令和二年度のイベントはコロナ感染症対策のためほぼすべてのイベント・大会が中止となったが令和三年度のイベント開催に対する町長の考えを伺う。

答 **町長** 南越前町開催のイベントや大会は、先人たちの並々ならぬ尽力と長い歴史を積み重ね現在に至っています。その成果を絶やす事なく後世に受け継いでいく事が我々の責務であると深く認識しているところであります。令和三年度については感染予防策を徹底して講じることを前提として開催に向けて取組みます。



熊谷良彦

町主導による間伐材の積極的な活用について

問 小規模な森林整備に伴う助成制度の創設と併せて間伐材の搬出促進をより一層推進すべき時期である。町の考え方を問う。

答 町長 森林は降った雨を蓄えて、ゆっくりと川に流す水源かん養や温室効果ガスの二酸化炭素を吸収する地球温暖化防止機能を有するなど、森林が果たす役割は非常に大きく、その恩恵は計り知れません。その森林を守り成長させるために欠かせないのが間伐です。

森林が果たす役割を最大限に引き出すとともに、持続的に後世に繋いでいくことを目的に、令和元年度から森林環境譲与税が創設され、令和6年から森林環境税として全国の自治体に配分されることとなっております。

本町においては、間伐材の利用促進を図るとともに、災害の要因となる切り捨て間伐を防止するた

め、森林環境譲与税を財源とした補助制度を設け、間伐材の搬出運搬を支援しております。

また、現在の国の森林整備の補助要件では、5ha未満の小規模な団地は補助制度が適用できません。そこで、小規模な団地については、森林環境譲与税を活用した森林整備事業実施について、関係機関と協議しています。

また、間伐材の利用促進については、南条郡森林組合で、間伐材のB材はベニヤ板等の集成材として県外の企業へ、またC材はバイオマス材として県内の企業へ運搬している状況です。

本町では、間伐材の町内での活用について、福井県や森林組合と連携し視察研修や調査研究を実施しておりますが、企業誘致や、第三セクターを設立するには、本町から搬出される間伐材では数量が不足し、安定経営は見込めません。今後においては、森林整備のさらなる推進と、安定した数量確保のための供給体制の整備等、福井県等と連携しながら町内での有効活用について、研究を進めていきたいと考えております。

今年の除雪体制について

今年は、正月から三年ぶりの大雪となりました。

福井方面では、今回も国道や高速道路で多くの車が雪のため停滞し、物流に大きな混乱をきたしました。運転手にとっては大変なご苦労があった事と思います。それでも国道や県道は、徐々に除雪も進みました。しかし住宅地などの生活道路の除雪はなかなか進まず、通勤・通学に大きな支障があり休校もありました。

一方、本町の除雪体制は、大雪に対する長年の経験を基に行われており、深夜でも一定の降雪があれば除雪作業を開始し、通勤・通学の時間までには作業を終え、休校することもなく、ごみの収集も従来通り滞ることなく実施されまし



町道除雪作業の様子

た。感謝しています。

この議会だよりを見ていただく時には、雪の心配も過ぎていくことと思いますが、不定期にやってくる雪に対して、除雪車やオペレーターを確保しておくことは大切なことで、担当課に確認したところ、現在町は、除雪ドーザやロータリー除雪車など23台を保有しています。さらに、業者が保有する39台と合わせ62台を使っています。また、集落内の狭い生活道路については、小型除雪機を集落に貸与し、各集落の責任において除雪する事としてしています。



集落に貸与している除雪機

本町では、経験豊かな委託業者のオペレーターが除雪車を操作し作業を実施しているのとこのですが、今後、引き続き長期的な対策として機材の確保と同時に人材の育成にも取り組んでいくことが必要と考えています。

臨時会報告

〔11月臨時会〕

11月臨時会が11月27日に開催され、一般会計補正予算（第6号）並びに、「一般職の職員の給与に関する条例」及び「南越前町常勤の特別職職員の給与及び旅費に関する条例」、「南越前町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正について、また財産の取得について（オンライン会議システムにかかるタブレット端末等）の合計4議案を上程し、本会議において慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

これにより、一般職職員、常勤の特別職職員、議会議員の期末手当が0.05ヶ月分削減されることになりました。

〔1月臨時会〕

1月臨時会が1月19日に開催され、一般会計補正予算（第8号）及び水道事業会計補正予算（第3号）、また公共施設自動体温検知カメラ等や抗菌仕様の防災服購入にかかる財産の取得についての合計4議案を上程し、本会議において慎重に審議した結果、いずれも

原案のとおり可決しました。

南越前町議会の 主な活動報告

●10月26日 市町議会議長会議員研修会が福井フェニックスプラザで開催され、全議員が出席

●11月1日 令和2年度福井県スポーツ少年団剣道大会（兼）南条地区剣道連盟創立60周年記念大会が今庄中学校で開催され、議長が出席

●12月8日 南越清掃組合新ごみ処理施設火入式が開催され、議長が出席

●1月10日 令和3年成人式が南



成人式

条文化会館で開催され、議長、総務文教常任委員長が出席

●1月11日 南越前町消防出初式が南条文化会館で開催され、議長他組合議員3名が出席

●1月15日 南越前町交通安全祈願祭が白鬚神社で開催され、議長が出席



交通安全祈願祭

〔11月から2月の主な会合〕 全員協議会

11月27日、12月11日、18日、
1月19日

議会運営委員会

11月13日、12月4日、2月2日

広報特別委員会

12月7日、1月14日、26日

決算特別委員会

11月4日、5日、27日

新幹線・在来線対策特別委員会

11月27日

鉢伏山周辺施設検討会

11月13日

各組合議会の主な会合

●11月2日 後期高齢者医療広域連合議会が鯖江市役所で開催され、議長が出席

●11月30日 南越消防組合議会臨時会が越前市役所で開催され、議長他組合議員3名が出席

●11月30日 南越清掃組合議会臨時会が越前市役所で開催され、議長他組合議員3名が出席

●2月5日 公立丹南病院組合議会が鯖江市役所で開催され、副議長他組合議員2名が出席

歴代議長に聞く

梅木隆治さん

南越前町も、あと三年で合併から20年となります。更に30、40周年に向けて参考とするため歴代議長さんにお話をお聞きしています。今回は第三代の梅木元議長にお聞きしました。

問 当時は振り返って

昨年は、新型コロナウイルスで大変な年でしたが、梅木さんが議長に就任



平成20年6月11日 高崎量子研究所にて

時は合併して5年目ですが、この間に、議員数は36人から半数の18人に、旧地区の垣根も低くなりまし

た。

一方、2

回目の選

挙を控え

た議会に

対して定

数削減の

話が各種団体から出されるなど、ご苦労の多い議会運営であったと思えますが当時の状況について

答 議員数削減は、慎重な検討が必要で、いったん減らせば、元に戻すことは困難であり、広く町民の声を吸収できるよう、全議員が腹を割って話し合いを行い、この時は4人を削減し、14名とすることとしました。その後も更なる削減の声も一部にはありましたが、議員として広く町民の意見



平成21年6月2日議員研修 植物園での集合写真

を吸収できる体制は必要だと思っています。

問 議会運営での苦労は

答 議会は、様々な意見が出ることは当然ながら最終的には議会としてまとめることが必要であり、混乱したときはいったん議論を止め、本音の意見を聞き、まとめていきました。

問 先進地視察、東京郷友会での交流活動はどうでしたか。

答 郷友会では、近所の友達が東京で活躍する姿に接し懇談したことは大変参考になりました。

問 議会の広報活動について

答 議会だよりは、合併後、一年だけの発行で終わり残念でしたが、現在は、復活し、町民に議会活動を知ってもらうため大切なことだと思えます。今回も取材を受け当時の事を紹介するなどできました。議会だより発行には引き続き頑張ってください。

問 議員にいられたきっかけは。また南条の議員から何期務められましたか。

答 私の仕事は自分で修業に行って今の仕事につきました。議員も父から薦められたわけではなく、集落の役職やPTAなど地域のお世話役をやっていたこともあり、地元から推されて出馬することとなり、以来6期務めました。



平成21年11月25日議員研修「東京証券取引所」参観

ありがとうございます。まだまだお聞きしたいところですが、引き続きご指導をお願い申し上げます。



今回は、今庄観光ボランティアガイド協会について会長の高谷皓之さんにお話をお聞きしました。

当会は、平成10年に旧今庄町が「観光立町」の一端を担うため発足し、以来25年が経過しました。改めて、この地には先人が残された大きな「宝」をどう活かしていくか考えています。

北陸線と北国街道が交差する今庄駅、古くから旅人たちが足を休め、モノと文化と情報が行き交って築かれた歴史と文化の町を、訪れた人に伝えることが出来るか、活動を進めるほぐし、



今庄宿を案内する高谷会長

伝える事の困難さが分かります。大変なことでありますが楽しんで、やり甲斐も感じています。

現在、会員は16名で、殆どが地元の方々ですが、仕事の合間に参加する人、仕事をリタイヤされて頑張っている人など様々です。一方、現在の悩みは会員の増強、後継者の育成で、郷土の歴史や文化などに興味のある方の参加を待っています。会の活動は、毎月の例会と学習会を行っています。今年の活動はコロナウイルス禍の影響で少ないですが、例年1万4千人余りのお客様を案内しています。

観光案内は、基本的には予約制ですが、なくても手配が出来ればご案内しています。また、お客様の中には歴史や文化について詳しい方も多く、私達も勉強になることも多く、常々の研修を怠らず、また、お客様には「温かいもてなし」をモットーに頑張っています。私達の案内するエリアは、今庄宿全般と、旧北陸線トンネル群の案内で、越の国の表玄関の「街並み」を案内していきます。また、旧北陸線トンネル群は昨年「日本遺産」に認定されました。更に研鑽を積み、広域的に案内していきたいと思っています。それはガイドをする事の責任と誇り、やりがいを感じるところです。



子ども達に説明するユニホーム姿の会員

今庄宿のキーワードは、「峠と街並み」です。更に磨きをかけ「重要伝統的建造物群保存地区」の認定に向かって、街道の「案内標識」、「説明板」の設置、旧北陸線トンネル群の早期整備と機関区のあるた駅構内の歴史資産の保存などを希望します。

事務局は観光協会(JRR今庄駅)の一角にあります。

☎45-0074

編集後記

▼昨年は、新型コロナで始まり、年が改まっても一向に収まる気配が見えません。そのため昨年の議会も多くの制約を受ける中での活動となりました。

ぜひ本年はワクチン接種や重症者病床の確保など課題の解決を図ってもらいたいものであります。

▼そんな中、12月議会では、「口ナに関する質問も含め、合計9人の一般質問がありました。議員の役割として歓迎すべきことでありますが、限られた紙面の関係で連載の記事を次回に廻すことになりました。ご了承ください。

▼表紙写真は、この時期ならではの「どんど焼き」を取材しました。着火の前には消防署へ連絡の上、実施していました。

参加した子ども達にとつて、古来伝統の行事を通じて、裸火を見る貴重な経験になったと思います。

▼次回から、新たな誌面作りにも取り組み、議会活動を広く紹介してまいりますので、ご理解、ご支援をお願い申し上げます。

(山本)